



ようこそ先輩！現代の名工 矢鋪與左衛門さんに学ぶ！

1月28日（金）、感染対策を万全に行ったうえで、6年生の卒業記念作品の制作を行いました。講師にお迎えしたのは、本校の卒業生「矢鋪與左衛門」こと矢鋪秀治さんです。お弟子さんも3人お手伝いただきました。矢鋪さんは、現在は佐賀県に在住。有田観光協会ウェブサイトによりますと、現代の名工、一級技能士、ものづくりマイスターで、1993年と2003年に宮内庁が作品をお買い上げになったという実績の持ち主です。與左衛門釜のウェブサイトには、国内だけでなく、フランスやドイツでの活躍と共に、「荒尾市立平井小学校（母校）6年生陶芸教室開催」との記述があり、大変誇らしく感じます。

ロクロを使った制作や「絵付け」も大変貴重な体験だったのですが、子供たちへの講話も印象深く、胸を打つものでした。本校を卒業して65年。苦勞と精進を重ねてこられた大先輩の、ふるさとの子供たちへの思いから語られたメッセージの一部をご紹介します。

お礼の手紙(抜粋) ↓

硬い土の形を変えて、お皿やお茶碗を作られている姿が、とても美しかったです。見ているときは簡単そうに見え、自分にもできると思っていたけれど、実際にロクロを使い、お茶碗を作ってみると難しく、(略)陶芸がとても大変だということを知りました。しかし、作っていると楽しくなってきた、できあがるのが楽しみです。矢鋪さんが何年もかけて習得された技は、努力の賜だと感じました。

努力をすることは、大切だなと思いました。どんなに頭がいい子でも、努力でそれはできているんだと思うと、今まで努力もせずうらやましいなと思っていた自分が、はずかしくなりました。これからは、たくさん努力していこうと思いました。

↑「挑戦力」「やりぬく力」の姿ですね！

「報連相」も大事です。学校では先生、家では親に正しく伝えてください。正しく知らせないと、運命にさえ関わります。間違った報告をすると、判断を間違えるからです。

自分から先祖を30代遡ると、1億人の「親」がいると言われてます。そのうちの誰が欠けても、あなたはいません。命は、地球でさえ比較にならないくらい重いのです。親は「神様」です。

「因果律」という言葉があります。結果には、必ず原因があるということです。天才なんていません。イチロー選手や大谷選手も人知れず努力しているのです。何百回、何千回、何万回の繰り返しです。できるまでやり続ける。やったことは、全部自分に返ってくるんです。

6年生から後輩たちへ 姿で伝える平井の学び！

1月19日（水）午前中だけ教室を多目的ホールに移し、6年生の授業を下級生に公開しました。題して「お手本授業」。子供たちはすごい集中力で、先輩たちの主体的でメリハリのある学習の様子を参観していました。学習リーダーが進める社会や算数、道徳の学びの姿を見ることで、自分たちの目指すゴールのイメージを確かなものにすることができたと思います。6年生がつくった新たな伝統を受け継いでほしいです。



新型コロナウイルス感染症対策へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

